

# 第11回医療・介護関係者の研修「多職種勉強会」報告



令和2年9月17日(木)14:00～16:00 プレンティホール 参加者：38名

テーマ：～地域で生きる～「難聴・めまい・嚥下の問題について」

講師および講演テーマ

- 『難聴と補聴器について めまいについて 嚥下機能と障害』  
神戸市西区医師会 会長 増井 裕嗣氏
- 『嚥下の問題について』  
総合リハ高次脳機能障害相談窓口言語聴覚士 廣居 直子氏



## 《内容》各講師から資料を用いての講義と質疑応答

- 講演1・難聴は、認知症の予防可能なリスクのうち最大のもの。障害の程度をチェックし、早めに、補聴器を使用していくことが効果的。また耳垢の有無を観察する事が大事。
- ・難聴の種類や補聴器の特徴、購入・フィッティングについて。周囲の人の協力が大切。補聴器は細かい操作が多く高齢者には困難。ポケット型や集音器が使いやすい。
  - ・めまいの種類や原因、診断、治療について。発作時のチェック項目や対応について。平衡リハビリテーションや日常生活上の注意点。
  - ・嚥下障害を来す疾患と嚥下内視鏡検査。区で内視鏡等の往診セットの設置を希望。
  - ・往診時のマンパワーの不足や嚥下機能評価後の多職種連携について問題提起。
- 講演2・嚥下障害は、食べることに大きく影響されており、摂食嚥下障害として食べる事から見えていくことが必要。栄養管理と食への楽しみのどちらを選択するかの問題について。
- ・嚥下のメカニズムと摂食嚥下障害の原因、認知症や加齢による影響（老嚥）、摂食嚥下障害の評価について。ケアマネジャー等との連携の方法について。
  - ・食事時の姿勢、嚥下、介助におけるチェックポイント。嚥下障害へのアプローチ。
  - ・事例紹介の中で、ご本人への支援のみならず、家族への支援の重要性について。

## 《アンケートより》 アンケート回収数：26（回収率78.8%）

本日の研修会は役立つものでしたか？			医療介護の多職種連携は、進んでいますか？		
大変役に立つ	17人	65%	できている	2人	8%
役に立つ	9人	35%	努力している	16人	61%
どちらともいえない	0人	0%	できていない	6人	23%
役に立たない	0人	0%	困っている	0人	0%
無回答	0人	0%	無回答	2人	8%
合計	26人	100%	合計	26人	100%

## 本日の研修会はあなたにとって役立つものでしたか？（自由記載）

- ・日頃関わることの少ない専門家から貴重な講義を聴くことができ、大変勉強になった。
- ・認知症は、難聴が引き金になりやすく早めの対処が必要。本人・家族にアドバイスしたい。
- ・補聴器は、買ってすぐに聞こえるのではなく、トレーニングは必要であることを伝えたい。
- ・嚥下における姿勢・体操など在宅で生かしたいと思う。
- ・誤嚥についての実際を具体的に聞くことができてよかった。
- ・普段の業務では知ることのできない現場の状況がよくわかった。
- ・家族や本人の意向を確認し、傾聴することはどの職種でも大切であることを感じた。



